

2021年度 学生募集戦略【結果】

PLAN(計画)		DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。		C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる	
			実施状況(実施率)	評価	評価の理由/課題/根拠データ等		
・総志願者数7,000名以上 ・大学全体入学者数1,220名以上 ・定員充足率、各学部・学科100%以上		・指定校との連携強化。 ・ステークホルダーとのオンラインコミュニケーションによるPR強化 ・保健医療技術学部における総合選抜制度導入。		100%	・志願者数、定員充足とも未達となった。Ⅲ期終了段階総志願者数5,438人、目標値-1,562人。入学者数も3/16時点で1,061人、目標を下回る結果となった。経営学部、心理学科、看護学科を除いては定員未充足。	／年度末『応募人員報告書』。	・18歳人口急減期に突入し、目標自体を志願者数から入学者数に変える必要がある。高等学校との教育連携、指定校の強化など、募集から「接続」への意識チェンジが必要。
・児童発達学科、人間福祉学科、作業療法学科における定員充足策の検討(充足率100%)。		・指定校枠増枠とPR強化。 ・入試選抜における併願制度維持		90%	・3学科とも昨年に引き続き定員未充足で目標を達成できず。児童59%、福祉65%、作業83%。	3学科とも一般選抜が機能していない。専願入試の募集強化が必須。	・社会環境の影響も強く受けているので、組織変更も必要になってくるのではないかと。
・ライバル大学(特に資格系)の学生募集状況調査・分析を行い、本学の戦略に生かす。		・ベネッセグループとの連携による本学の実態調査の実施。 ・各種予備校データの分析		80%	・入試制度改革には一定の効果があったが、教育力、ブランド力など、全学的課題については思うような成果をあげられていない。	進研アド協力、『非出願者調査』結果。	・高大連携を強化し、専願入学者を今以上受け入れる必要がある。
・認証評価指摘事項対応案の検討(学生受け入れ方針とその結果検証)。		・学生募集戦略会議にて課題の共有。その各学部入試委員会で検討。		50%	・APに沿った選抜が機能しづらい状況にあり(一部を除き全入)、認証評価の指摘に対応が出来ていない。	・DP,CPとの関連性から、募集戦略会議だけでは対応が困難。他の委員会と協力し対応を図る。	・募集、教育、キャリアの3領域で同時に対応を検討する必要がある。内部質保証委員会との連携も必須。

2022年度 学生募集戦略

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
・大学全体入学者数1,220名以上 ・定員充足率、各学部・学科100%以上 ・高大連携の促進
・専願制入試における定員充足率70%以上
・OC、高校ガイダンス、進学説明会など、受験生との接触を大幅に強化
・経営学部新学科、児童発達新コースPR強化、定員確保 ・レイクランド大学との連携PR